

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目のⅡやⅢ等)から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点](アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	グループホーム青葉の家
(ユニット名)	2号館
所在地 (県・市町村名)	愛知県豊橋市嵩山町字松田55
記入者名 (管理者)	清原 隼子
記入日	平成 20年 10月 20日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

取り組んでいきたい項目

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	保育園や諸学校そして地域の皆様と交換しています。	○ 保育園や小学校の運動会、夕涼み会に参加しています。
2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	カンファレンスや月1度の部会で、職員全体で意見の統一を図っています。	○ ミーティングを行い、ケアについての意見を話し合っています。
3	<input type="checkbox"/> 家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	新聞を発行し、家族の方や地域の人々に広めています。	○ 家族の訪問時に繰り返し伝えています。
2. 地域との支えあい			
4	<input type="checkbox"/> 隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	散歩に出掛けると、近所の方々に声掛け。挨拶をすると応えてくださいます。	○ 畑を耕していると、近所の方たちが花の苗等を持ってきてくださったり、こちらから積極的に話しかけています。
5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	交流を深めています。推進会や運動会、中学生生徒さんの体験学習に声掛けしています。	○ 行事にお互い参加し、地域の皆様と交流を深めています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	地域の学生さんに、実習を試みていただいています。	○	絵画教室に参加し、他者との触れ合う時間を設けています。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	毎年評価するにあたって、昨年の反省も踏まえてコミュニケーションを大切に取っています。	○	毎年を振り返り、反省し話し合っています。
8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2カ月に1度の運営推進会を開いています。事業所の報告や行事の報告をし、意見や質問を頂き和やかに話が進んでいます。	○	家族の意見や地域の方達の質問に、答えられるように努力しています。
9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の講習に出席したりし、市町村の皆さんと共にサービスの質の向上と交流を図っています。	○	今後多くの講習会、勉強会に積極的に出席し、質の向上につなげたい。
10	○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	全体の職員勉強会があり、又会議等で話し合い支援しています。	○	部会を開き説明を聞く。又必要時話し合いの場を設けています。
11	○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎回勉強会があり必ず議題にあがります。カンファレンスを備けどんな小さなことも話し合っています。	○	事例を聞いて話し合い防止に努めています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p> <p>家族の不安、疑問を聞き説明し、理解を得ています。</p>	○	家族の相談に快く答えるよう努力しています。
13	<p>○運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> <p>介護相談社員が時々面会にみえ、利用者とは色々楽しく話を聞いていただいています。</p>	○	入居者の苦情又は、不安を取り除くよう傾聴しています。これからもそんな場を設けていきたいと思っています。
14	<p>○家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p> <p>毎月新聞を発行し、訪問時には写真を見て頂いています。来れない家族の方には手紙等で報告に努めています。</p>	○	遠方の子供さん達には、面会に中々来れないとお手紙を頂き一日のスケジュールを書き、写真とお手紙と一緒に書き、投函しています。涙を流し喜びの返事を頂きました。
15	<p>○運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p> <p>意見・不満・苦情を聞き職員共々話し合っています。</p>	○	意見箱を備え付け、管理者に相談しています。
16	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p> <p>部会を開き、意見を出し合いよりよい方向に向けて、話し合っています。</p>	○	職員の意見を聞き質の向上に、つながるよう確保しています。
17	<p>○柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p> <p>管理者は状況に応じて、対応出来るよう通常のシフトに入れていない為、夜間等の対応や入居者の状況に応じた体制が取れています。</p>	○	急な職員の欠勤時に、応援できるよう確保しています。
18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p> <p>各ユニットの職員を固定化し、顔馴染みの職員によるケアに心掛けています。</p>	○	職員の異動は最小限に抑えています。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職場の課程の勉強会や、市や保健所又は、それ以外での研修に参加し資料を配布しています。	○ A・B・AA課程とそれぞれにレポートを提出し、義務付けています。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他ホームと交換職場実習を行い、その中でよりよい内容を実践し、質の向上を目指しています。	○ 他施設との交換を図りケアの方向性に向けて取り組んでいます。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員の疲労やストレス要因について、気を配り職員同士の人間関係を作るよう努力しています。	○ 職員同士個々の対応するよう努めていきたい。
22	○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員評価を行なっています。また資格取得を努める。健康診断の実施を行なっています。	○ 職員仲良く明るい職場にし、それによって入居者の心地よい生活に繋がる。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	事前に生活状態を把握して、話しやすい雰囲気作りをし、受け止める努力をしています。	○ 入居者が家族の思いを受け止め、安心して貰える関係作りをしている。又、努力したい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面会に来られた時、時間を取って話す場を持つように努力しています。又受け止めるよう心掛けています。	○ 家族の立場になって話を聞き、よりよい関係を築いていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人や家族の思いを確認し、可能な限り対応しています。	○	地域包括センターや病院・事業所との連携を密にしています。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居され1. 2週間は淋しさが募る。そんな時、散歩に出たり話を聞いたり時には面会に来ていただいたり、雰囲気作りをし、一時を過ごして頂いています。	○	職員や他の入居者が、場の雰囲気に少しずつ慣れ始めるよう家族と相談しながら行なっています。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	少しでも時間を作り会話したり笑顔で過ごせるよう、又色々入居者の方から教えて頂いたりしています。	○	食事を一緒に食べながら子供の頃の食べ物を話し合っています。昔の事を聞いて教えて頂いています。
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族とのコミュニケーションを図り、心込めて支援しています。	○	入居者と家族との会話の中に入り、楽しく出来る場作りをしています。
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	家族と本人の会話を聞き教えてもらいながら接する。	○	家族の思いに近づくように心がけています。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	友達等と交流を出来る場を作り、楽しい日々を過ごされる。	○	デイケアに通っていた方があり、時々訪問し懐かしくお話をされる。そんな場作りをしたい。
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	それぞれの思いのずれが発生する事もあり、常に目配りしています。	○	一人一人の好みに合わせ、その中に入り込める雰囲気作りをしています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	入院を長くされ退去される場合、面会に行き交流しています。	○	サービスが終了しても長期にわたりコミュニケーションを計って行きたい。
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	言葉や表情等からその真意を指し、図ったりそれとなく確認するようにしています。	○	入居者が自分らしく暮らし続けるように職員全員で一人一人の思いに関心を持って把握するよう努めたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	どんな暮らしをされていたか、又育った家庭とか家族の協力により、情報を得て把握するよう努めています。	○	入居者に小さい時や結婚したときの話を聞きその時に近い会話をし、楽しくしていただいています。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	出来ない事より出来る事に注目して、その人全体の把握に努めていきます。	○	本人の出来る事を暮らしの中で発見していくよう努めて生きたい。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	一人一人のその時点に添った個別、具体的な計画を作成しています。	○	より良い暮らしをして頂くために、何が必要か家族と共に本人本位の介護計画を大切にしたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画を進めている中で変化があったとき、再度計画の見直し、建て直しを職員同士意見を出し合い、検討し計画を作成しています。	○	実践的な対応が出来る介護計画をし、その都度臨機応変な対応が出来る計画を作っています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	職員の気づきや利用者の状態変化は、この詳細記録に書き留め計画の見直し評価を実践しています。	○	より良いケアに向けて日々職員のケアに活かしています。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	本人家族の状態、その時々々の要望に応じて通院等必要な支援は柔軟に対応し、個々の満足を高めるよう努力しています。	○	本人や家族の状態に応じて、その都度柔軟な支援をしています。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	利用者が安心して暮らせるよう地域の他機関と協働し、支援しています。	○	訪問調査の方達や小学校の実務研修等に支援して頂いています。
41	○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	本人の希望や体調に応じて、訪問理髪サービスを利用して頂いています。	○	外の暮らし、流行などを利用者に応援をもたらして下さるよう協力を得ています。
42	○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	部会にて権利擁護を勉強したり運営推進会にて情報交換や、協力関係が強化されています。	○	権利擁護を利用されている方、地域包括支援センターと協働しながら支援している。
43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人や家族が希望するかかりつけ医となっています。受診や通院は希望に応じて対応している。基本的には家族同行となっているが不可能なときには、職員同行となります。	○	本人家族の希望に応じて対応しています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	家族や職員の話を聞いて頂き支援や助言を頂いています。	○	医師と信頼関係を築きながら協力して頂いたり、相談に応じてもらえるよう支援しています。
45	○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	看護職員がいますので、健康管理や日常生活の中の医療を相談し支援しています。	○	少しの体調変化にも連絡し、協力し合える様支援しています。
46	○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院時は本人の指示支援方法に関する情報を医療機関内に提供し、職員が見舞うようにしています。又情報交換しながら支援しています。	○	医療機関は家族との連携、確認をその都度行なっています。
47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	本人の気持ちを大切にしつつ、家族と話し合い安心して終末期を過ごしていけるよう、職員同士で話し合いケアに向けていく。	○	ターミナルケアにその人の人生に大切にし、日頃から職員や家族との話し合い、協力し支援して行きます。
48	○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	本人の意思を大切にし、家族とも相談し話し合い、利用者が安心して終末期を過ごして頂けるように、取り組んでいます。	○	最後までここが一番いいと思って頂ける様な、環境に慣れるよう取り組んでいます。
49	○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ケアプランや支援状況を家族に伝え、職員と家族との情報交換を行いダメージを防ぐようにする。	○	移られた時、状況を見てお伺いします。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1)一人ひとりの尊重			
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	他の利用者の家族や外来者に、職員は本人のプライバシーに関しては話さないようにしています。	○ 本人の気持ち、意思を大切にしていきたい。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	天気の良い時散歩に声掛け元気に行かれたり、好きな歌を歌ったり支援しています。	○ デイケアにお邪魔して会話を楽しんだり、外の空気を吸いたいと言われたり散歩はとても喜ばれています。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	毎日の生活を大切に皆様の笑顔がそれぞれ個々に支援しています。	○ 一人一人の生活を尊重し好きな行いをして頂き一緒に行動し支援しています。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	朝の洗顔後のクリーム等つけたり整髪されたりしています。	○ 女性の方にはクリームを買ってきたり、男性の方は髭剃りに専念されています。
54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	誕生日会など大きな行事のとき、利用者の好みを聞いて作ったり片付け等一緒にして頂いています。	○ おやつにお好み焼きを焼いたり誕生日には好きな食べ物を聞いて作ったりして楽しんでいます。
55	○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	タバコは職員室で預かり本人の望む時他の利用者に迷惑掛けない所で職員が見守りながら吸って頂けるよう心掛けています。	○ 本人の誕生日には好きな飲み物を飲ませてあげたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	一人一人の排泄リズムを把握して気持ちよく排泄できるよう支援しています。	○	その人その人の排泄パターンに合わせて失敗を減らしてあげたい。
57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	毎日入られる方、1日おきに入る方、皆さんとっても風呂が大好きで昔の話をしたり歌を唄ったりしています。	○	もう少しゆっくり、のんびり入れてあげたいと思う時があります。
58	○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	一人一人の体調に合わせて、ゆっくり休息が取れるにして、日中の活動を促して、生活のリズムを取れるよう努力しています。	○	高齢の方が多いのですが、歌を唄ったり本を読んだりテレビを観たりして、それぞれ好きなように生活をされています。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	日常生活の中で仕事、お手伝いをしてくださったり感謝の意を伝え支援しています。	○	他者の方の仕事も、お手伝いしてさせていただきます。
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ほとんど預かりになっていますが、少しでも持っていないと不安な方には、少しのお金を財布に入れ楽しむよう支援しています。	○	外へドライブに行ったりした時に売店で御菓子等を買ったりして楽しんでいただいています。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	本人の体調、気分に応じて季節を肌で目で、感じて頂けるように、散歩やドライブなどに行ったりしています。	○	家族と一緒にドライブ、お食事会などしたいと思います。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	季節感を味わって頂けるよう、お花や景色を見に、ドライブを楽しめるよう支援しています。	○	楽しんで頂けるような催しがあれば見に行っています。子供さん。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	子供さんからの手紙に入居者の筆跡と一日の生活状態を手紙で知らせています。	○	お手紙の返事に写真を入れたり、近況を報告したりしています。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	時間の許す限りいつでも訪問していただけるよう支援しています。	○	仕事の帰りによっていただいたり、友達の面会も楽しくお話されています。
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について講習に行ったり、部会を開き話し合ったりしています。	○	全体の勉強会に必ず議題に出ます。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室の鍵をかけることが拘束でもあり、自由に出入りできるよう取り組んでいます。	○	入居者が鍵をかけてくれと、言われる時にはかけますが、ほとんどありません。
67	○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	常に全員の行動等把握しています。夜間も同様です。	○	目配り気配りに十分気を付け入居者の行動や所在をつかんでいます。
68	○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	利用者の状態変化によって危険性がある時には注意を促していく。	○	入居された時点で持ち物を確認させています。
69	○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	ヒヤリハットを参考にし、職員の共有意識を図る。	○	常に冷静な判断でキャッチできるよう努めています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	応急手当の講習に行き、職員に伝達し知識を備え付けています。	○	応急手当講習へ行き訓練しています。
71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	定期的に防災訓練を行っています。地域の学生さんも参加され訓練しています。	○	マニュアルを作ったり訓練を密に行っている。話し合っています。
72	○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	家族の方の希望を取り入れ、入居者の安全優先し自由な動きをしている。家族に理解を得る。	○	その都度対応を考え行動しています。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	まず朝の顔の表情、目の色を観察しバイタルチェックや皮膚観察を行っている。又家族への連絡も密に行っている。	○	どんな事にも繋がるホーレンソウ、報告、相談、連絡をしっかりと行っています。
74	○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	名前・日付、顔を確認し服薬する。又、処方箋を見て薬の把握をする。	○	誰がどんな薬を飲んでいるか把握し伝達し変化の確認を行っています。
75	○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便チェック表を作り、毎日確認し個人個人の状態を把握する。食事に工夫し取り組んでいる。	○	水分補給をし入浴時に腹圧マッサージをしたり、繊維食を多く摂るように心掛けています。
76	○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後口腔ケアを全員行っています。義歯もはずし口腔ケアを清潔に行っています。	○	イソジンで綿花にてケアをし、残渣物がないか口腔内を確認しています。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	外注により専門の方が献立して下さるので、栄養バランスは取れています。嚥下の悪い方にはミキサー食で工夫しています。	○	水分補給はできるだけ多く摂っています。
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染について早期発見にて対応しています。マニュアルに添って職員で学習しています。	○	食膳の手洗い、食後の口腔ケア、消毒、外出後の手洗い・うがいを職員も行っていきます。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	当日、調理用具は毎日漂白し清潔に心掛けております。冷蔵庫も点検し食材も残り物は鮮度を確認し冷凍したり処分したりしています。	○	食器消毒表を作り適度の間隔にて消毒を行っています。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関に新聞や行事の写真等自由に見て頂いたり常に声掛け出来る空間を作ったり工夫したりしています。	○	周りは山に囲まれ自然の環境に恵まれています。秋には栗を拾ったり、川の土手にはセリやニラを取ったり楽しさに工夫をしています。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	ホールや廊下に季節の飾り物や写真を飾ったり思い出して頂いています。	○	施設の周りには、季節花が咲き山に囲まれているので、色の移り変わりを見て季節を味わっています。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホールにはテレビや音楽が常時楽しめるように、又ソファーに座りゲームをしたりお話をされたりしています。	○	午前と午後にはラジオ体操やリハビリ体験をしたりボール投げ、歌を唄ったり楽しんでいます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	昔から馴れ初めのある家具にて生活をして頂き、テレビも好きな方には自由に見て頂いています。	○	居室にくつろげる雰囲気作りに行っています。
84	○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	温度調節にはエアコン等を使用していますが、朝起床時には窓を開け換気に努めています。	○	温度調節や換気は勿論、衣類や寝具にも気をつけています。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	安全確保と自立への配慮をしています。	○	ラジオ体操やリハビリ体操を試みています。
86	○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	職員と話し合い本人の不安材料を取り除き力を取り戻せるよう試みています。	○	一人一人の得意分野を活かしていけるよう努めています。
87	○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	周りには花や山に囲まれた生活です。秋にはサツマイモを取り入れたりして楽しまれています。	○	周りの花壇に水をまいたり花や稲、ナスと色々な食材や花を楽しんでいます。

V. サービスの成果に関する項目	
項 目	最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。
88 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの
	<input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある
	<input type="radio"/> ②数日に1回程度ある
	<input type="radio"/> ③たまにある
	<input type="radio"/> ④ほとんどない
90 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
91 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
92 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
93 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
94 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が
	<input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが
	<input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが
	<input type="radio"/> ④ほとんどいない
95 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と
	<input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと
	<input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと
	<input type="radio"/> ④ほとんどできていない

項 目		最も近い選択肢の左欄に○をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	①ほぼ毎日のように
			②数日に1回程度
			③たまに
			④ほとんどない
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	①大いに増えている
			②少しずつ増えている
			③あまり増えていない
			④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○	①ほぼ全ての職員が
			②職員の2/3くらいが
			③職員の1/3くらいが
			④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての利用者が
			②利用者の2/3くらいが
			③利用者の1/3くらいが
			④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	①ほぼ全ての家族等が
			②家族等の2/3くらいが
			③家族等の1/3くらいが
			④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

毎日午前午後にラジオ体操とリハビリ体操を職員共々、大きな掛け声だし車椅子の利用者さん、イスに座ったままの人楽しく行っています。又、午後四時ごろから輪になりボール投げに大きな声で笑い手をたたき楽しんでみえます。又遠くの子供さんへの手紙を利用者さんの自筆と写真、そして職員の言葉をいれ送ったりしています。